

## デカいだけの iPhone

Mac 版ネットブックを熱望する人からは、「デカい iPhone ならイラね」と言われていた。もちろん、デカい iPhone を予想することは 100% 冗談である。ところが、本当に大きな iPhone が出た(笑)。しかも、iPhone からいくつかの機能が削られている。

- ・カメラ
- ・電話機能
- ・近接センサー
- ・Wi-Fi モデルの GPS

とはいえ、iPad のような製品には一定の需要はあるのだろう。携帯メディア再生端末として見れば、iPad で機能も操作性も十分だろう。しかし、Mac 版ネットブックを期待した人にとっては期待外れな製品である。iPad では、Mac 版ネットブックの代わりにはならない。帯にも襷にも短い、そんな感じである。

## 主な不満点

iPad に対する主な不満点は次のような所だろうか。

### 大きさとインターフェイスのバランス

小型端末としてなら、iPhone/iPod touch のユーザ・インターフェイスは良く出来ている。Windows Mobile と比べれば、圧倒的に使い易い。小型端末は、小型であるが故に、制約が大きい。キーボードや画面は大きい方が良いが、筐体は小さい方が良く、という相反するニーズを満たさなければならぬ。その制約の中で、Apple はキーボードよりも画面を優先した。そして、キーボードを外すことによるデメリットを十分に補うだけの徹底した工夫を追求した。

小型端末としてなら、iPhone/iPod touch のユーザ・インターフェイスは正しい選択だろう。しかし、操作性の低下を抑えているとはいえ、パソコンと比べれば操作性はかなり低下している。MacOS は勿論のこと、パソコン版 Windows と比べても、iPhone/iPod touch の操作性は劣る。端末の小ささを追求するなら、一定程度の操作性の低下は我慢しなければならない。しかし、iPad クラスの端末であれば、小型端末ゆえの制約は大きく緩和されるはずである。それなのに、どうして、iPad クラスの端末でも我慢を強いられるのか。通常の OS X と全く同じとは言わないまでも、少くくは改善できるはずである。それなのに、iPhone/iPod touch の全くユーザ・インターフェイスを採用していることは多に不満である。

### キーボードがない

携帯メディア再生端末として使う分には、キーボードは無用の長物だろう。しかし、テキスト入力を多用する用途では、キーボードは必須である。ソフトウェア・キーボードを使う間は実質的に画面が小さくなり、キーボードを省いたことはデメリットにしかならない。ネットブックを期待する立場からすれば、粗末な作りでも良いからハードウェア・キーボードが欲しい。

### マルチウィンドウでない

オフィス系ソフト等を使っていると、複数のウィンドウ間でデータをコピーを繰り返すことが良くある。だから、マルチウィンドウ(「マルチタスク」という表現は間違い)で使えないのは大きな痛手である。

## SSD 採用

携帯メディア再生端末なら、SSD よりハードディスクを搭載すべきだろう。エンコードした映像を入れるには、最大モデルの 64MB でも少なすぎる。容量が 48GB 増えただけで 200 ドル高くなるのでは、メディア単価として高過ぎだ。また、内蔵ディスクを簡単に交換できないため、書換可能回数の少なさは大きな問題である。追加のディスクが使えるれば、まだ、マシなのだろうが、iPod には、そうした拡張性はない。

## 通信コスト

3G モデルでは、電話契約と別にデータ通信のみを単体で契約しなければならず、通信費が高つく。ただし、iCall Free VoIP を使えば、電話契約を無しにできる。いずれにせよ、iPhone のように、キャリアがソフトバンクでは料金が高い。

## 妥協点

### Windows 用ソフトが動かない

Windows 用ソフトが動かないことは、それほど大した問題ではない。個人的に持っている Windows 用ソフトは、ゲームが殆どである。ゲーム以外にもいくつかのツール等を持っているが、携帯端末で使う必要は感じない。ゲームも、できればいいな、程度にしか思っていない。

### Mac 用ソフトが動かない

Mac 用ソフトが動かないことも、それほど大した問題ではない。というのも、自分の Mac にも、純正ソフト以外には、次のようなソフトしか入っていないからである。

- ・エンコード系
- ・画像処理系
- ・Web ブラウザ
- ・オフィス系
- ・Windows 互換用

エンコードや画像処理は、ネットブックに期待するのが間違っている。Web ブラウザは標準搭載ソフトで十分だろう。オフィス系は、MS 互換であれば十分で、iWork で間に合うだろう。追加のソフト代もそれほど高くはない。Windows 互換用ソフトは、Windows 用ソフトがどれだけ必要かによる。

## まとめ

携帯メディア再生端末としては、それなりに悪くない端末である。機能よりも、手軽に誰でも使えることを優先している。ディスクと通信コストさえ許容できれば、使い物になるだろう。iPad のライバルは、ネットブックではなく、ニンテンドー DS や PSP である。

しかし、ネットブックとしては、大きさの割に携帯端末並の制約を課す所が、期待外れである。出先でアイデアを書き留める端末としては、非常に使い難い。ちゃんとした Mac 版ネットブックの登場を期待したい。

最終更新時間：2010 年 01 月 31 日 18 時 51 分 58 秒